



ココアスナップショット (2023-2024年度)



カカオ生産者と彼らのコミュニティの暮らしの向上を目指す

ココアホライズンについて

カカオは主に熱帯地域の小規模生産者によって栽培されています。カカオ栽培はしばしば生産性の低さ、環境の悪化、カカオ栽培のコミュニティにおける経済的脆弱性といった課題に直面しています。これらの課題に対処するためには、サステナビリティを促進しつつ、安定したカカオサプライチェーンを確保する包括的な取り組みが必要です。2015年、バリーカレボー社は、森林破壊を引き起こさないカカオ生産を推進し、人権を保護しながら、カカオ生産者の繁栄を実現するというビジョンのもと、「ココアホライズン財団」を設立しました。

本プログラムは7か国で展開され、バリーカレボー社の関連企業によって実施されています。コートジボワールにおいては、ココアホライズンはトウトン社、シュクデン社、ETG社とも連携しています。これらの企業との連携によってカカオ豆の安定供給が確保されると同時にサステナビリティへの共通の取り組みが強化されています。

私たちの取り組みの核心にあるのは**インパクトと透明性**です。そのため、監査済みの年次報告書を通じて、どのように資金が使われ、具体的にどのような成果がカカオ栽培のコミュニティにもたらしたかを報告しています。

改革の推進方法

私たちは改革を推進するため、次のような連携およびイノベーションを活用しています。

- 専門家および先進的なパートナー企業との連携による**総合力の強化**
- データと革新的なソリューションを活用した**活動の成果の測定および効率の向上**
- 重要な**活動**への重点的な財団の支出
- **現場の生産者**との直接的な対話および必要な改革の推進
- ブランドパートナー企業と消費者間の繋がりに対する支援の実現による持続可能な**カカオ需要の促進**

すべてのレポートは以下のリンクからご覧いただけます。

<https://www.cocoahorizons.org/reports>



ココアホライズンとの連携を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を支援します。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment>

【SDGs表記に関する免責事項】本書の内容は国際連合による承認を受けたものではなく、同機関またはその職員、加盟国の見解を反映するものではありません。



2023/24年度の財務レポート

（単位：スイスフラン）

資金配分*

ココアホライズン
プログラムの収益

43,513,872

私たちはココアホライズン財団の目的に沿った活動に資金を提供しています。そのため生産者へのプレミアムに加え、生産性、コミュニティ、環境といった分野への投資を行っています。

本セクションでは、2023/24年度の収入および支出の内訳を公開しています。

私たちの活動の資金源は下記の通りです。

- ココアホライズンが承認したカカオおよびチョコレート製品を購入する際にプレミアムを支払う消費者から受け取った資金
- バリーカレボー社からの400万スイスフランの寄付金
- 2022/23年度からの繰越未使用金

これらの活動は、バリーカレボー社の従業員およびその他のパートナー企業によって実施されています。

免責事項：

生産者および生産者グループに支払われるプレミアムは調達したカカオ豆の量に基づいています。一方でその他の分野への支出はココアホライズン財団の裁量によって実施されます。

ココアホライズン資金使途

45,169,769

生産者および生産者グループ
へのプレミアム

19,435,722

生産性関連費

8,705,600

コミュニティ関連費

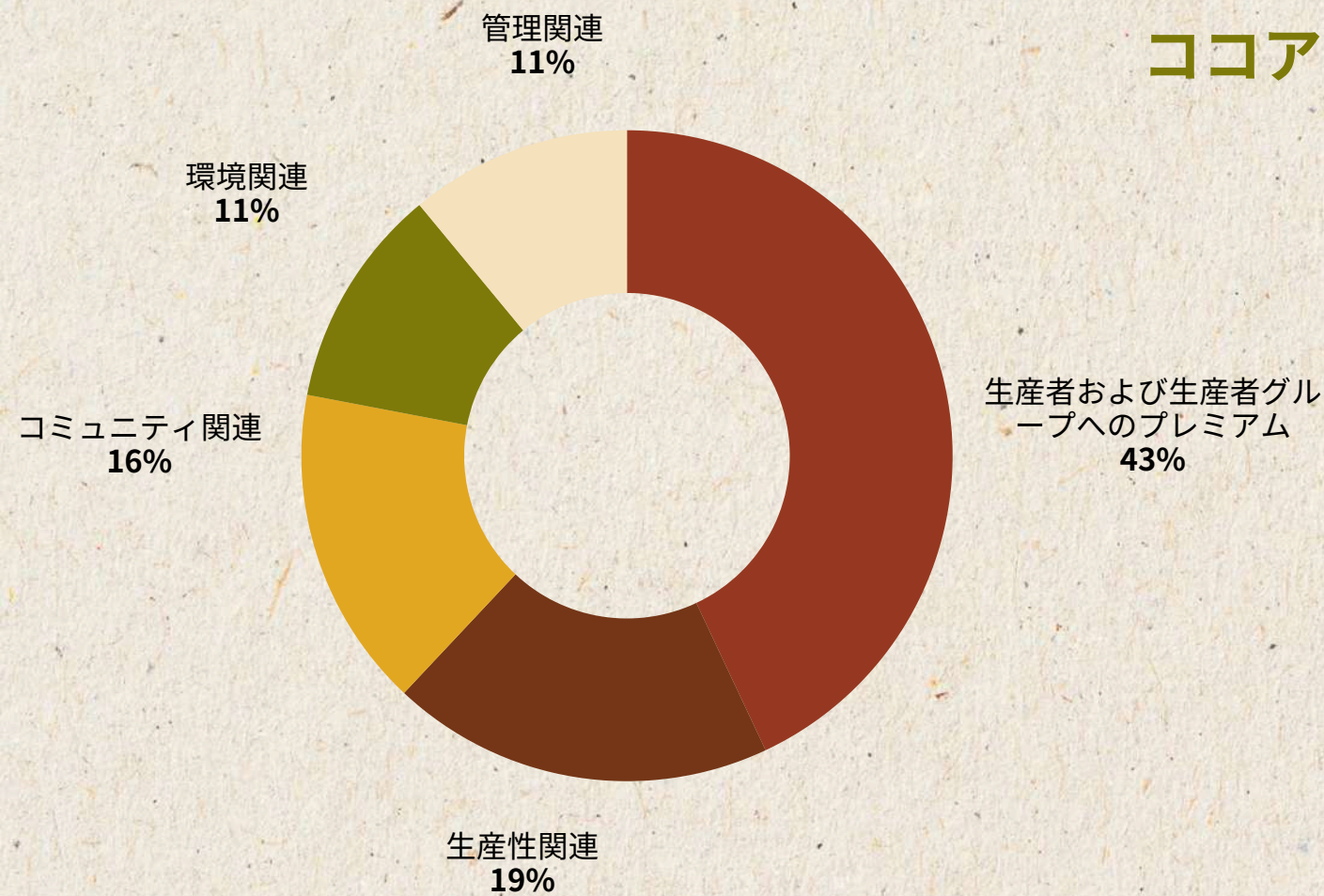
7,269,374

環境関連費

4,776,237

管理関連費

4,982,836



*実際の配分は、現地の状況や特定の事情により±5～10%の範囲で変動する場合があります。

世界における主な成果

トレーサビリティおよび コンプライアンス

211,201名の生産者が追跡可能なデータが整備された状態でカカオを出荷しました。これはココアホライズンに出荷する全生産者の91%に相当し、2025年までに100%のトレーサビリティを達成するという目標にさらに近づく結果となりました。

生産者の生産性および支援

収穫前の支援：剪定や施肥といった収穫前の支援を受けた生産者の数は2倍以上の35,877名に達しました。

環境面での進展

PES（生態系サービス支払い）によるインセンティブ：PESとは、シェードツリーの保護を目的に生産者が樹木の管理を上手に行っている場合に金銭的報酬が生産者に支払われる制度です。2024年には、樹木管理や炭素除去活動が上手だった生産者に対し、前年より453%増の合計720,817スイスフランが支払われました。

人権分野での進展

児童保護への取り組み：農場巡回調査を活用した新たなアプローチを試行し、国際的な人権基準に沿って児童保護体制の強化を図りました。

トレーサビリティ

91%

追跡可能なデータが整備された状態でカカオを出荷した生産者の割合*

生産者の繁栄

68%

世界銀行が定義する国際貧困ライン（1日2.15米ドル）を上回っているカカオ生産者の割合*

自立したコミュニティ

95%

私たちの直接サプライチェーンに属する生産者グループのうち、児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている割合*

自然を豊かに

88%

森林破壊に寄与していないことが証明されたカカオの割合*

272k

達成した炭素除去量（二酸化炭素換算でトン単位）

* 2025年12月31日までに100%達成を目標

ココアホライズンを支える生産者たち

私たちと協力関係にある356,011名の実態をより深く理解するため、ココアホライズン財団ではアグリロジック社と連携して独自の調査や詳細な研究を実施しています。これらの調査は、カカオ栽培コミュニティの社会的・経済的状況や直面している課題に対して貴重な知見を提供します。このデータを基に私たちは生産者の実際のニーズに即した取り組みを行うことができ、彼らの優先課題に的確に対応できるようになりました。

主要データと統計

356,011

COH (ココアホライズン) 生産者数

231,518

カカオを出荷している生産者数

325

カカオを出荷している生産者グループ

49

平均年齢*

91%

追跡可能なデータが整備された状態でカカオを出荷している生産者の割合

8.2

平均世帯人数*

16%

サステナビリティプログラムに参加している女性生産者の割合

5.89 Ha

平均の農園面積*

68%

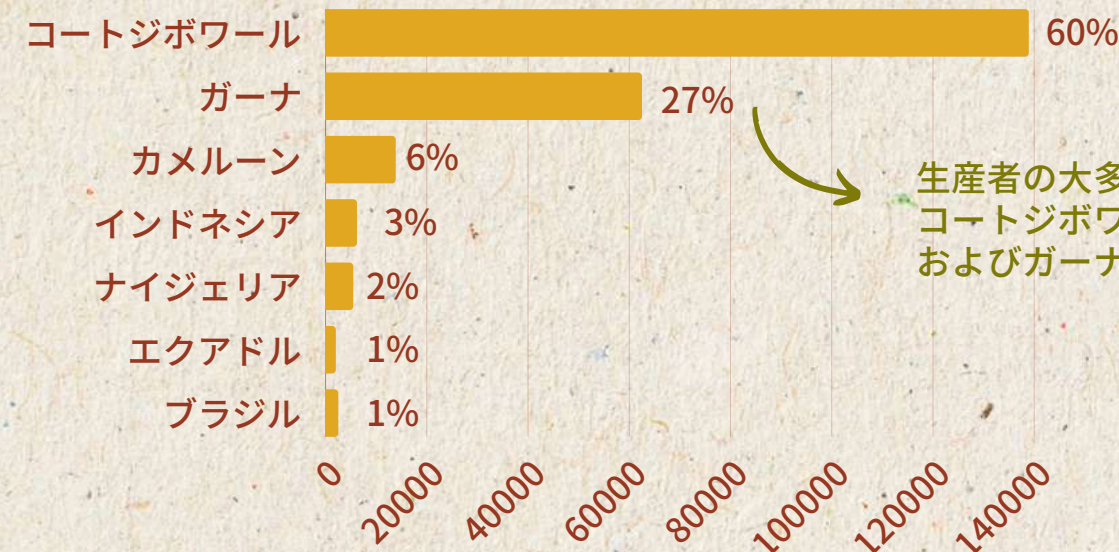
世界銀行が定義する国際貧困ライン (1日2.15米ドル) を上回っているカカオ生産者の割合

63%

カカオ栽培に充てられている農園面積*

33%

各世帯の稼働時間の内カカオ栽培に費やす時間の割合



生産者の大多数はコートジボワールおよびガーナ在住



* コートジボワールの生産者データ (ファーマーフィールドブック2022-2023) に基づく

持続可能なカカオへの取り組み

課題に取り組み実質的な進展を実現するため、ココアホライズンでは「課題解決型アプローチ」に基づき、3つの分野に注力しています。

生産性

カカオの生産性の向上は、生産者の所得を増やすことや持続可能なカカオセクターを確立する上で重要です。ココアホライズンは、農園の生産性と長期的なレジリエンスを高めるためそれぞれの農園に合った支援を通じて生産者の自立を促進することに尽力しています。

2025年までに、すべてのココアホライズンの生産者が貧困ラインを上回ることを目標としています。

2030年までにココアホライズンは、生活可能所得を確保できる「変革的なカカオ栽培モデル」を構築します。

コミュニティ

ココアホライズンは、カカオ栽培コミュニティが主体となって児童保護および人権擁護に取り組めるように後押ししています。ユニセフの児童中心型の枠組みに基づき、このアプローチはサプライチェーン全体の責任体制とコミュニティ主導の仕組みを統合し持続的な変化をもたらします。

2025年までに、ココアホライズンのすべてのサプライチェーンを人権デューデリジェンスの対象とし、特定された児童労働の事例をすべて是正します。

2030年までに、対象のココアホライズンのコミュニティにおいて、児童の権利を保護・促進するための体制強化モデルを確立します。

環境

ココアホライズンは、森林破壊を引き起こさないカカオサプライチェーンを構築し、気候変動に強い生態系を育成することに取り組んでいます。トレーサビリティシステム、アグロフォレストリー（森林農法）への取り組みおよび持続可能な土地利用の実践を組み合わせることで、森林保全、生物多様性の強化、カカオ栽培コミュニティの支援を目指します。

2025年までに、ココアホライズンは森林破壊ゼロおよびフォレストポジティブを実現します。

ココアホライズンは、低炭素農業の実践を通じて、パートナー企業が2050年までにカーボンニュートラルを達成できるよう支援します。



生産者の繁栄

貧困削減への道筋

2023/24年度は、天候および気候要因が重なり、カカオ豆の供給不足が発生し、価格は過去最高水準に達するなど、大きな試練の年となりました。これを受けて、コートジボワール政府とガーナ政府は生産者の受け取り価格をCFA 1,500/kg (GHS 33.12/kg) に引き上げました。この調整によって一定の経済的支援は得られたものの、西アフリカのカカオ生産者の多くはいまだに長期的な経済的安定を確保できる水準の収入には至っていません。

私たちのデータによると、貧困削減を左右する3つの要因は「収量」「農園規模」「価格」であると示しています。今年の価格の引き上げによって価格制度が収入の増加をどのように後押しするのかを示しましたが、持続的な経済的レジリエンスを築くためにはさらなる取り組みが必要です。

報告書の精度を高めるため、私たちは世帯人数の算定方法を改訂し、従来のOECDの等価尺度に代えてOECD修正等価尺度を採用しました。この新しい尺度によって大人と子どもの資源需要をより正確に反映しています。

こうした課題にも関わらず、ココアホライズンのプログラムに参加した259,971名が生産者が

2024年には、世界銀行が定義する国際貧困ラインを上回り、前年と比べて54%改善しました。

生産者を貧困ラインから脱却させることは重要ではありますが、あくまで出発点到すぎません。2030年までに、ココアホライズンは、カカオ生産者が生活可能所得を得て、家族を支え、農園に投資して自立した持続的な生計を築けるような農業モデルを確立することを目指しています。

変革をもたらす支援サービス

2024年に、ココアホライズンは「農業経営計画」や「生産性向上パッケージ」などの取り組みを通じて、前年より15%多い14万5,000人以上の生産者を支援しました。これらは、収量の最大化や農園経営の改善を目的とした戦略的な指導・ツール・資源を提供する取り組みです。剪定や害虫駆除などの収穫前の支援は4万153ヘクタールに及び、前年に比べて140%の拡大を達成し、生産者の生産性向上に寄与しました。

- 専門の労働チーム：剪定および施肥を提供することで、収量を大幅に改善するとともに、現地の労働者の雇用機会を創出しました。

- 農業経営計画：農園の潜在能力を最大化し、生産性を高めるため個別型の最適化戦略を提供しました。
- アグロフォレストリー（森林農法）：生産者がシェードツリーを植樹することで、生物多様性の促進や土壌の健全化、収入源の多様化や二酸化炭素の回収を実現し、気候変動の緩和に貢献しました。
- 土壌管理：効果的な養分管理を後押しするために施肥を行い、収量の最適化と長期的な土壌の健全性維持を実現しました。
- 高収量品種の導入：病害虫の耐性が強いカカオ品種を提供し、老朽化した農園の再生と持続的な生産性の確保を図りました。
- 収入源の多様化の機会：生産者がカカオ以外の副業的な生計活動に取り組めるよう支援し、カカオへの依存度を下げ、経済的レジリエンスを高めました。

66

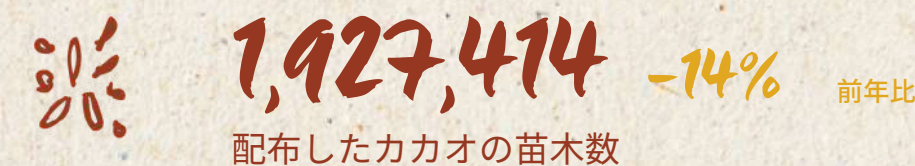
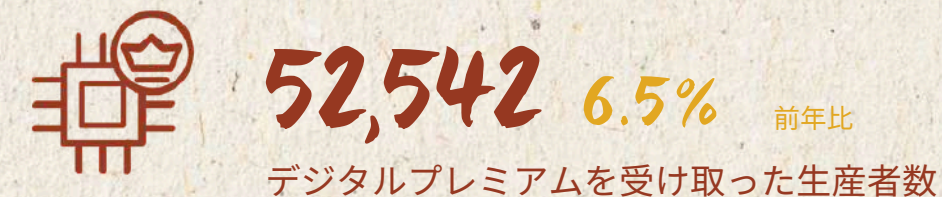
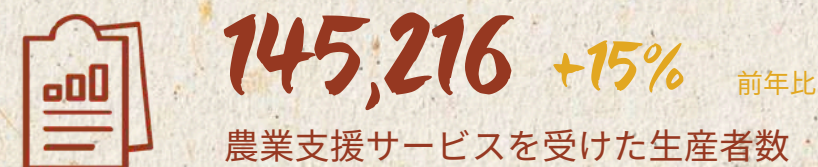
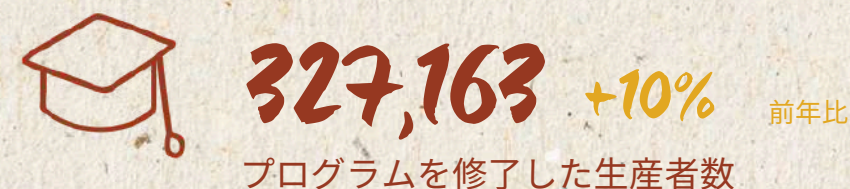
カカオ栽培は20年以上にわたって家族の家計を支えてきましたが、生産性が課題でした。ココアホライズンによる剪定や施肥に関する研修を通じて、わずか3年で生産性が75%以上向上しました。財団による支援が農業のあり方を変え、家族に大きな経済的安定をもたらしてくれました。

99



オグンレイエ・モドゥペ・オルブンミさん
(ナイジェリア、アクレ、
オニパヌコミュニティ在住
のカカオ生産者)

生産者の繁栄



自立したコミュニティ

児童保護体制の強化

2023/24年度にココアホライズンは児童労働のモニタリングの手法を見直し、予防および体系的な対応に移行しました。今回の移行は、農場巡回調査などの新しい手法の試験導入や児童との一対一の面談を伴う家庭調査の廃止など国際的な児童保護のベストプラクティスに沿ったものとなりました。

手法において大幅に更新した点は、是正措置の事例の評価方法を再定義したことです。30万件を超える調査結果を分析したところ、6か月後に児童労働から解放された子どもは33%でしたが、12か月後には9%に減少しました。これを踏まえ、一部地域では、1回と2回の訪問の比較調査を行い、是正措置の有効性をさらに検証しています。現在は1回目の支援から12～18か月後に是正措置の効果を再評価し、より正確な報告と持続的な成果の確保に努めています。この新しい手法は今年度のみ適用され、遡及的には行われません。

変更した結果、2024年には児童労働を特定した件数が72%減少し、是正措置を講じた件数は145%増加しました。これらの変化は

子どもの権利侵害に対する予防、対応調整、長期的な解決に重点を置く私たちの戦略が展開していることを示しています。

持続可能な生活基盤の強化

多様な収入機会の創出は、コミュニティのレジリエンスを高める上で極めて重要です。2024年には、ココアホライズンが設立した「村落貯蓄貸付組合 (VSLA)」はさらに拡大しました。

- 展開の拡大：設立したVSLAは1,953の組織までに上り、前年と比べて56%増加しました。
- 女性のリーダーシップ：加入者の約70%が女性であり、家庭の安定と女性の自立と社会的地位の向上を後押ししています。
- 貯蓄と再投資：貯蓄額は、総額330万スイスフランとなり、そのうち200万スイスフランが教育や生活支出に再投資されました。

変革を目的とした連携

政府、NGO、研究機関との連携が、私たちの取り組みの影響力をさらに高めています。連携によって教師研修、教育施設の整備、保護者の関与強化が進み、カカオ生産者のコミュニティの教育の質が向上しています。

66

今年はNGOパートナーと連携して新たな人権戦略の実施を開始した重要な節目となりました。この戦略ではカカオ生産者のコミュニティにおける児童の権利保護および主要な人権課題への対応を重点に置いています。子どもとの個別面談から予防と対応を重視する手法に移行し、児童保護の原則に沿って地域の体制を強化しました。現在も発展途中で学ぶことは多いですが、この先進的なアプローチは、私たちは児童と彼らのコミュニティに持続的な変化をもたらす取り組みを行っていることを表しています。



セリナ・バインダー
(バリーカレボー社
グローバル人権責任者)

99



自立したコミュニティ



95% **-4%** 前年比

当社の直接サプライチェーンにおける生産者グループのうち、児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている割合



22,916 **+145%** 前年比

是正措置を講じた児童労働の件数



290 **+3%** 前年比

児童労働のモニタリングおよび是正措置を講じている直接サプライチェーン内の生産者グループ数



1,953 **+56%** 前年比

設立または運営中の村落貯蓄貸付組合 (VSLA) の数



12,445 **-72%** 前年比

特定された児童労働の件数



69.2% **0%** 前年比

VSLAのメンバー内での女性の割合



33,492 **-40%** 前年比

是正措置を講じている児童労働の件数



CHF 3.3 million **+166%** 前年比

VSLAを通じて貯蓄された総額



CHF 2 million **+201%** 前年比

VSLAを通じて貸し出された総額

自然を豊かに

森林保護と法令遵守の推進

森林保護の取り組みとして、農園外の生態系保全や農園内のシェードツリーの管理など、生物多様性の強化と気候変動による影響の軽減を目的とした取り組みが含まれています。これらの対策は、私たちがEUDR（欧州森林破壊防止規則）への対応を含む、時代の変化によって変わっていく法規制に適応する上で不可欠です。

アグロフォレストリーによるソリューションの拡大

アグロフォレストリー（森林農法）は、気候レジリエンスや環境保全を推進する上で重要な役割を果たしています。ココアホライズンは、重点的な支援を通じて持続可能な農業慣行の拡大と奨励を引き続き実施していきます。

- アグロフォレストリー・システムの拡大：2024年には30,343ヘクタールに拡大し、前年と比べて115%の増加を達成し、森林破壊の圧力の軽減および生物多様性の強化に貢献しました。
- シェードツリーの配布：シェードツリーの苗木を270万本配布し、土壌の健全性、炭素吸収、収入源の多様化を推進しました。

- 持続可能な取り組みの奨励：PES（生態系サービス支払い）を通じて720,817スイスフランを樹木の維持や炭素削減を目的として生産者に支払いました。

気候レジリエンスの強化

ココアホライズンでは、アグロフォレストリーを適用した43,614ヘクタール（前年比159%増）の農園を積極的に管理することで、樹木の生存率を確保し、気候変動対策の効果を最大化しています。これらの取り組みを私たちの厳格なデューデリジェンスシステムと一体化することによって、森林を保護しながら、カカオ生産者コミュニティの環境課題へのレジリエンスを高めます。

66

アグボ保護林でレンジャーとして活動する中で、ココアホライズンの支援による大きな変化を実感しています。財団の植林活動によって5年間で300ヘクタールの森林が再生し、地域の生物多様性と気候環境の改善に貢献しています。この取り組みは環境面での利益だけでなく私たちのコミュニティに雇用を生み出し、農業と保全が共存する持続可能な未来を築いています。

99



キャプテン・ンゲサン・エマニュエル
（コートジボワール・クアディオクロ
アグボ2森林保護区）



自然を豊かに



88% **+47%** 前年比

森林破壊に寄与していないことが確認された
カカオの割合



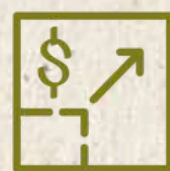
84% **+7%** 前年比

ポリゴンマップで特定された区画の割合



2,711,622 **-1%** 前年比

生産者に配布されたシェードツリーの苗木数



43,614 **+159%** 前年比

管理下（設立および維持）にあるアグロフ
オレストリーの面積（ヘクタール）



41,110 **-59%** 前年比

森林の再生目的で農園外に配布された苗木数



30,343 **+115%** 前年比

新たにアグロフォレストリーを適
用した農園面積（ヘクタール）



14,641 **+496%** 前年比

PESを受け取った生産者数



272,809 **+62%** 前年比

アグロフォレストリーによって達成した
二酸化炭素除去量（単位：トン）

